

巻頭言

埼玉経済界と埼玉大学の
架け橋になります！埼玉大学産学官連携協議会
新会長

増田 文治

MASUDA Fumiharu

株式会社マスタック
代表取締役会長

造、異常気象などの大きな変化が毎日のように報道されています。

本会は埼玉大学の研究成果をはじめ保有する人財・実験装置・情報を活用し会員企業の抱える技術的な課題の解決に寄与する産学官交流事業を促進するために研究成果の発表やテクノカフェを開催しています。

埼玉大学は県内唯一の国立大学であり国の政策に沿った高レベルの研究を行うなど会員企業の抱える技術的な課題の解決に大きな貢献をするものと考えます。

埼玉県は首都東京の傘のような位置にあり、圏央道や外環道の開通によって交通インフラの利便性が一気に改善されました。これにより首都圏に様々な商品を供給する工場が全国から北関東へと進出していますが埼玉県にはその管理拠点が集積しています。

このようななかで埼玉県の経済発展を展望すると従来の産業レベルではできなかった技術レベルの高いソリューションや宇宙産業であるとか医療産業のような技術主導型の産業の振興が望まれているのではないかと思います。このような高度な科学技術が必要とする今こそ大学の持つ様々なリソースを企業が活用することが必要であり、本会の活動をより一層活発にしていきたいと思っています。

皆様のご協力と産業振興に対する熱意をお願いして会長就任の挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくご願ひ致します。

6月12日に開催されました総会において、会長の大役を仰せつかりました。私はニッチ産業である食品機械業界で機械設計製造並びに菓子製造を行う企業を経営しています。1977年に埼玉大学理工学部機械工学科を卒業した埼玉大OBであることが推薦理由のひとつではないでしょうか。

さて、前会長の原俊樹様は就任時に昨今の時代は「VUCAの時代」とおっしゃっていました。予測できない変化が継続的に起こる時代は現在でも続いており国際情勢、国内の秩序、産業構

CONTENTS >>>

- 01 巻頭言
- 02 活動報告 「第25回定期総会・産学官連携事例発表」
- 04 活動報告 「埼玉グリーンインフラSDGs研究会」「データサイエンス技術研究会」
- 05 「金属積層造形技術研究会」「自動化のための力覚検知技術研究会」
- 06 「スタートアップ・新規事業創出研究会」「防災DX研究会」
- 07 活動報告 「3D-CAD&3Dプリンター研修」「大学見本市2024～イノベーション・ジャパン」
- 08 会員企業訪問記 「大森機械工業株式会社」
- 09 会員企業訪問記 「エクシオグループ株式会社」
- 10 新会員紹介
- 12 オープンイノベーションセンター産学官連携活動カレンダー

>> 活動報告

Report

01

「第25回定期総会・産学官連携事例発表」を開催



会長挨拶(原会長)



来賓祝辞(関東経済産業局地域経済部/北原部長)



来賓祝辞(埼玉県産業労働部/目良部長)



来賓祝辞(さいたま市経済局/大井課長)

埼玉大学産学官連携協議会では、2024年6月12日(水)ソニックシティビル4階市民ホールにおいて、第25回定期総会(第1部)、産学官連携事例発表(第2部)交流会(第3部)を開催しました。2023年度に引き続き、定期総会、産学官連携事例発表、交流会(懇親会)の全てを対面による通常開催として実施しました。

総会開催に先立ち、2023年度事業報告案及び決算案、2024年度事業計画案及び予算案、役員改選の各号議案は、5月28日(火)に開催の運営委員会(メール審議)において運営委員による審議を行いました。

開催当日は、昨年を上回る127名の方にご参加いただきました。第1部定期総会では、原俊樹会長の挨拶にはじまり、続いてご来賓の関東経済産業局地域経済部長 北原明様、

埼玉県産業労働部長 目良聡様、さいたま市経済局長 金子芳久様(代読:産業展開推進課長 大井裕之様)からご祝辞を頂戴しました。引き続き、埼玉大学 坂井貴文学長(代読:石井昭彦理事)より挨拶がありました。総会開催定足数の確認後、原会長が議長となって議事を進行しました。各号議案について事務局より報告及び提案があり、全ての議案が原案通

り承認されました。2024年度活動計画及び予算案では、研究会活動の拡充や共催行事を通じたシーズ発信の強化等、本協議会の活動活性化に向けた各種提案を盛り込んでおります。第5号議案の役員改選については、原俊樹会長の任期満了に伴い、増田文治氏(株式会社マスダック 代表取締役会長)を後任会長とする旨が承認されております。議案承認後には、



第1部 定期総会

別表1

埼玉大学産学官連携協議会 第25回定期総会各号議案議決結果

定足数

6月12日時点会員数	240会員
出席会員	54会員
議長宛委任状受領	105会員

会員数240に対し、出席会員及び議長宛委任状を合わせて159会員となり、当協議会規約第4章第17条(総会の定足数)における総会成立条件である3分の1以上の出席を満たす結果となりました。

各号議案

第1号議案	2023年度事業報告
第2号議案	2023年度決算
第3号議案	2024年度事業計画
第4号議案	2024年度予算
第5号議案	役員改選

結果

出席会員の賛成及び議長宛委任状件数を合計し、すべての議案について、過半数の賛成をもって可決されました。



学長挨拶代理(埼玉大学/石井理事)



特別講演(株式会社スプラム/竹内幸次代表取締役)



産学官連携事例紹介(宇田川准教授)



産学官連携事例紹介(齊藤部門長)

新たに運営委員に就任された8名の方から、ご挨拶いただきました。

第2部の産学官連携事例発表では、株式会社スプラム 代表取締役 竹内幸次氏より「中小製造業のDX推進～ChatGPT等の生成AIの経営活用～」と題し、特別講演が行われました。経営目的に合わせた生成AIの活用効果やリスクについて、実際のプロンプト指示例を交えてご講演いただきました。中小企業が社内展開していくうえでの具体的なメンバー選出基準や検討期間・検討事項等も盛り込まれ、参加者から多くの質問が寄せられる様子もあり、実際に所属組織で活用いただくために大変有益なご講演となりました。

産学官連携事例／研究トピックスの紹介では、2件の講演を行いました。



第3部 交流会(懇親会)

た。大学院人文社会科学部 宇田川元一准教授より「企業変革のジレンマと対話」と題し講演いただきました。構造的無能化はなぜ起きるのか、組織の慢性疾患状態が引き起こすインシデント等を例えに、企業変革に向けた取組みの重要性をお話しいただきました。

続いて、社会変革研究センターレ

ジリエント社会研究部門 齊藤正人部門長より「社会変革研究センター『レジリエント社会研究部門』について」と題し2024年4月に設置された同部門の特徴や、研究内容について紹介がありました。防災工学分野と情報・デジタル領域を連携させた“DXを高度に活用した災害対応”の社会実装に向けたビジョンを分かりやすく講演いただきました。

第3部の交流会にも引き続き100名の方に参加いただき、講演者や参加者の間で活発な交流が行われました。対教員あるいは会員企業・団体間での交流促進の機会については、今後も形式を検討しながらご提供していく予定です。

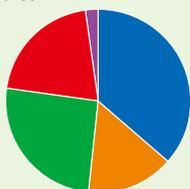


新役員紹介

参加者アンケートより

大学との連携に求めるもの(複数回答可)

- 共同研究・開発・指導 50
- 人材育成 21
- 講演会セミナー 35
- 就職支援 28
- その他 3



産学官連携事例発表(第2部)についてご意見・ご感想

- 生成AIをさらに活用してみる気になった。ITリテラシーについて考えさせられた。
- 組織改革に関する内容は、現在社内検討しているため、参考になった。
- 組織の停滞化が非常に気になっていたため参考になった。書籍を購入したい。
- レジリエント社会研究センターと地域との共創を期待している。

>> 活動報告

Report

02

埼玉大学産学官連携協議会研究会報告

埼玉グリーンインフラSDGs研究会

代表：藤野 毅(大学院理工学研究科・教授) 事務局：村井 亮介(産学官連携コーディネーター)

緑区大道の耕作地にモリ
ンガを栽培して2年目を
迎えました。冬場に圃場を整
備し、播種を行う5月から気
温が高くなりモリンは今年も
大きく成長しました。開花も
確認され、近隣養蜂家の協力
により圃場近くに巣箱を置いて
ミツバチがモリンの花の
蜜を運ぶか観察中です。モリ
ンガ由来のハチミツが出来れば
ブランド化および商標登録を
検討します。

モリンガ栽培によるCO₂吸収の
定量化は本学にしか例がなく
全国から問い合わせを受け
ました。7月11日に佐賀県
伊万里市で講演を行い、併
せて熊本県のモリンガ栽培
地を視察しました。次に、
北隆館が刊行する月刊誌「
アグリバイオ」8月号の巻頭「
トツ



プランナー」に埼玉グリーン
インフラSDGs研究会が紹介
されました。同誌の「研
究者の広場」では“モリ
ンガによるCO₂吸収量の実
態について”を寄稿しまし
た。テレビ朝日の取材を受
けて、9月23日のANNニ
ュース内の“SDGs特集コ
ーナー”においてモリ
ンガ栽培による炭素固定の
解説を行いました。さら
にモリンガを栽培すること
による「カーボンオフセ
ット自販機・

精米機」の提案を行って
います。

6月17日(月)に総合研
究棟にて第1回の研究会を
開催しました。昨年度の
活動報告の後、内藤環境
管理株式会社の加藤吉紀
様と一般社団法人Green
4の共同代表菅野沙織様
からそれぞれ話題提供を
して頂きました。ともに
埼玉県内の水と土壌の環
境保全に関する興味深い
内容で今後の展開が期
待されます。



データサイエンス技術研究会

代表：平松 薫(大学院理工学研究科・教授) 事務局：金谷 康弘(産学官連携シニアコーディネーター)

研究会3年目となった2024
年度の前半は、「IoTセンサ
によるデータ収集」をテーマ
にした研究会を2回連続で
実施しました。IoT (Inter
net of Things) は「モノの
インターネット」として、あ
らゆるモノをインターネット
に接続し、情報交換する仕
組みの実現を目指す概念
です。その核となるIoT
センサは、インターネット
経由で環境の変化や機器
の動作状況を記録・分析
可能にするデバイスであり、



多様な場面での活用が期
待されています。

連続開催1回目の第6
回研究会(6月28日)では、
オムロン社の環境センサ
2JICIE-BU01を利用した
ハンズオンを実施しまし
た。2JICIE-BU01には、
温度・湿度・照度・気圧・
騒音・3軸加速度の各セン
サがUSBメモリサイズの
筐体に搭載されており、
Pythonで作成したプロ
グラムでデータ収集でき
ることをハンズオンで確
認しました。研究会終了
後、参加者に環境センサ
をお貸しし、それぞれの
環境でのデータ収集と
その分析を宿題としまし
た。

連続開催2回目の第7
回研究会(8月2日)では、
宿題発表をワークショップ
形式で実施しました。空
調機器の効果検証、作
業環境へのPC排



熱の影響、生産現場や
屋外設置機器の環境デ
ータ計測、環境センサが
出力するデータの精度
検証などについて、活
発な議論が行われまし
た。

2024年度後半は、
テキスト分析をテーマ
とした研究会を2回予
定しております。皆様
の業務に役立つ新た
なヒントや最新技術
に関する情報をご提
供する予定ですので、
皆様の研究会への引
き続きのご参加をお
待ちしております。

金属積層造形技術研究会

代表：金子 順一(大学院理工学研究科・教授) 事務局：宇田川 秀幸(産学官連携コーディネーター)

金属積層造形(AM)技術は新たなものづくり技術として欧米のみならず国内でも注目され、多種の製品製造の手段として導入が進んでいます。ただ、実用化にあたっては未だ、設計・加工・品質保証など各段階における様々な技術的課題が存在しており、産学の連携による課題解決が今後ますます重要となると考えられます。

本研究会では、今年度上半期に、第6回研究会を埼玉県入間郡三芳町の三芳合金工業で、第7回見学会を青森県八戸市のエプソンアトミックス株式



社 北インター事業所で開催いたしました。三芳合金工業では、NC合金をはじめとする特殊銅合金の精製および鍛造技術の紹介をいただきました。用途に合致した銅合金を迅速に精製し、部品加工まで実施して出荷する体制が高い関心を集めていました。

エプソンアトミックス株式会社では、腕時計やプリンタ等の微細金属部品の製造において使用される金属射出成形と、独自の超

微細金属粉末の大量生産法である水アトマイズ法、およびアモルファス合金粉末の超高压水アトマイズ製法であるS.W.A.P.法のご紹介をいただきました。当社の微細金属粉末の製法は他の手法に比して大幅なコストの抑制を可能としており、AMによる製品量産に大きく貢献すると高い関心をあつめていました。



自動化のための力覚検知技術研究会

代表：辻 俊明(大学院理工学研究科・准教授) 事務局：藤山 斉(産学官連携コーディネーター)

近年、人の手のような感覚を持たせるための「力覚検知センサ」を搭載し、微細な力加減を必要とする熟練作業(組立や研磨等)の自動化ニーズが高まっています。このニーズに応えるため、2023年に「自動化のための力覚検知研究会」が設立されました。本研究会は、まだあまり知られていない力覚検知センサ技術の基礎・応用技術を広め、今後の社会・産業界のニーズ解決に貢献することを目的としています。

第1回研究会は2023年6月14日に開催され、力覚検知センサを用いたロボット技術の背景、基礎技術、応用展開、具体的ニーズについての講演が行われました。続く第2回研究会は昨年11月8日に開催され、第1回で紹介された力覚検知センサを搭載した実機デモの見学が行われました。実機デモを見ながら、その構造や動作についての説明を受けました。

第3回研究会は2024年6月17日に開催され、最新の技術動向についての講演と意見交換が行われました。内容は生成AIについての説明、AIの歴史とChatGPT、生成AIを活用したロボット技術、そして研究室における最近の研究状況と今後の計画について取り上げました。

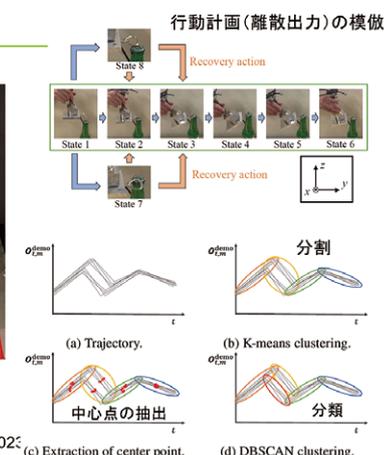
皆様には、「力覚検知センサ」について一通り知っていただけたと思



階層的行動計画



2段階クラスタリングに基づき位置ずれの回復動作を自律的に習得する模倣学習 (Takeuchi et al., IEEJ JIA, 2023)



ますので、当初の予定期間より少し短いですが、第3回をもちまして解散することといたしました。これまでご支援ご協力いただいた皆様にご心より感謝申し上げます。特に、各企業の皆様には、貴重なご意見やご提案をいただき、今後の研究の参考にさせていただきたいと思っております。ありがとうございました。

スタートアップ・新規事業創出研究会

代表：赤羽根 康男（オープンイノベーションセンター・客員教授）、本間 俊司（オープンイノベーションセンター・教授） 事務局：藤山 斉（産学官連携コーディネーター）

我が国は、経済成長の鈍化や少子高齢化、雇用創出の必要性、イノベーションの推進など、多くの課題に直面しています。こうした背景のもと、スタートアップやアントレプレナーシップの重要性がますます高まっており、新しいビジネスモデルや技術革新が期待されています。そこで、本協議会においてもスタートアップ企業に対する理解を深め、埼玉大学及びその協議会会員の起業家精神を促進し、新しいビジネスアイデアやイノベーションの創出を目指す「スタートアップ・新規事業創出研究会」を設立しました。

2024年7月19日に、埼玉大学で第1回研究会が開催され、埼玉県産業労働部、埼玉中小企業家同友会、さいしんコラボ産学官、株式会社埼玉りそな銀行、東日本電信電話株式会社、株式会社デジタルベリーからの代表者と、埼玉大学の関係者を含む合計

17名が参加しました。

当日は、研究会代表の赤羽根が、今後の研究会の活動内容について紹介し、同じく代表の本間が埼玉大学のアントレプレナーシップ教育に関する取り組みについて説明しました。各機関からはスタートアップに関連した取り組みが紹介され、その後、参加者全員で意見交換会が行われました。この意見交換会では、スタートアップ企業の支援や新規事業創出のための

具体的なアイデアや提案が積極的に出され、充実した議論が交わされました。

次回の研究会は2024年11月末に開催される予定です。詳細な日程や内容については、後日お知らせいたします。また、第2回目以降の参加希望者を募集中です。ご興味のある方は、ぜひ事務局までご連絡ください。新たなビジネスの芽を育てるこの研究会にご期待ください。



防災DX研究会

代表：齊藤 正人（大学院理工学研究科・教授） 事務局：金谷 康弘（産学官連携シニアコーディネーター）

今年6月に開催された2024年度埼玉大学産学官連携協議会総会にて、防災DX研究会設立を承認いただきました。本研究会は、防災DX技術の基礎・応用技術を習得し、埼玉大学並びに協議会会員の技術シーズ

を深化・発展させ、社会・産業界のニーズ解決に貢献することを目的としています。また、産学連携での研究会活動を通じ、研究成果の技術情報の公開、ステップアップのための補助金の獲得・共同研究の実施、継続的活動のためのフレームワーク形成に繋げて行くことを目標とします。

まだ研究会の活動は緒に付いたばかりですが、昨年度より防災デジタルトランスフォーメーションに関する勉強

会を開始し、埼玉大学堤田先生が研究開発中のコンステレーション衛星データ解析技術（高頻度観測画像から防災情報、例えば浸水の状況を把握するなど）や、あいおいニッセイ同和損害保険様が取り組んでいる地方創生プロジェクトの活動内容、そしてMS&ADインターリスク総研様のデジタル・データ活用の取り組みなどについて、相互に紹介し情報交流を進めています。

今後は埼玉県や県下市町村の防災担当者向けに防災DXのセミナーを開催し、デジタルを駆使した地域防災の向上を目指します。研究会へのご意見・ご要望をお待ちしております。



≫ 活動報告

Activity Report

Report

03

「3D-CAD&3Dプリンター研修(さいたま市連携事業)」を実施

今年度は、昨年度までの教材や進行方法の見直しを行い、開催方法を「半日(4時間)×2日間」から「7時間×1日」を主体として開催いたしました。現在までの受講お申し込みの傾向等からこの開催方式に一定の評価をいただけたのではないかと考えております。引き続き、アンケート等での受講者のご意見を伺いながら、改善に努めてまいります。



今年度前半の日程で、3D-CAD超入門コースの特別編として、医療・福祉などの現場で働く方を意識した「知恵

と工夫で自助具作成」コースを開催いたしました。当日は、埼玉県立大学大学院 保健医療福祉学研究科の小池准教授、埼玉大学大学院理工学研究科の阿部准教授のご講演の後、フリー素材のペットボトルオープナーのダウンロード手順を学び、そのサンプルにフィットする取手のモデリングを行い受講者から好評をいただきました。

今年度後半の日程をリリースいたしました。従来のコースに加え3D-CAD超入門コース特別編のその2として「プログラミング研修」を追加いたしました。この研修では、M5Stackというマイコンと赤外線反射センサーを使って対象物を検出し、その検出情報をLINEで通知するプログラムをビジュアルプログラミングで設計します。ま



た、そのマイコンとセンサーを一体化させるブラケットのような物をAutodesk Fusionでモデリングするコースで、「3D-CAD」と「マイコンのプログラミング」の「超入門」二刀流コースとなっております。DXは状況の可視化から始まります。現場に役立つDX人材の予備軍になりませんか? ぜひご参加をご検討ください。

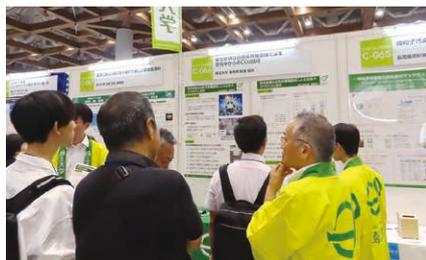


Report

04

「大学見本市2024 ~イノベーション・ジャパン」へ出展

今年も「大学見本市2024 ~イノベーション・ジャパン」に出展しました。(会期:8月22日(木)、23日(金)/会場:東京ビッグサイト 南展示棟 南1ホール)本イベントは、国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)が主催する国内最大規模の産学連携マッチングの場です。21回目となる今回は、日本全国にある125の大学などから281件の特許技術シーズ(出願中を含む)が5



つの分野別に出展されました。

総来場者数は2023年度を上回る11,001名に及び、多くの関心を集めました。埼玉大学からは、大学院理工学研究科の3名が、カーボンニュートラル・環境分野に2課題、健康・医療分野において1課題が採択され出展いたしました。(出展者参照)

会場では、来場者と出展者間で活発なやり取りが見られ、セミナー等も

盛況で、対面開催に参加者の関心の高さがうかがえました。また、全国大学等シーズ情報ゾーンでは、刊行物「埼玉大学 研究シーズ集2022-23」を配架し、大変多くの方にお届けすることができました。

今回出展した各技術シーズについては、産学交流会テクノカフェ(11月5日開催)においてショートプレゼンまたはポスター発表を行う予定です。是非ご参加いただき、最新の研究シーズに触れていただければ幸いです。



出展者 分野別

堤田 成政 准教授	カーボンニュートラル・環境	車載カメラからランドスケープの変化を検出する
柳瀬 郁夫 准教授	カーボンニュートラル・環境	安全安価な白色系無機固体による空気中からのCO ₂ 回収
津田 佐知子 准教授	健康・医療	ゼブラフィッシュを用いた生体膜電位イメージング



会員企業訪問記

学生レポーター

我妻 賢士郎
ワン ムハンマド アダム
ビン ワン モド プハリ
ノル アイマン ビン モハマ
ド ユソフ
工学部機械工学科 4年

『限りない未来に向けて
包装の可能性を追求する』

大森機械工業株式会社



COMPANY PROFILE

所在地: 埼玉県越谷市西方2761

創業: 1948年3月

代表者: 代表取締役社長 大森 利夫

事業内容: 包装用機械および包装関連機器の製造・販売

Interview

01 概要

大森機械工業は包装システムのリーディングカンパニーです。包装は内容物の保護することで保存性や利便性を高めたり、表面印刷を施すことで情報伝達や広告効果の役割も果たしています。常に“確実、綺麗、スピーディー”な包装を実現すべく、高品質な包装機械の開発を続け、包装機械産業の牽引役として半世紀以上にわたり積極的な企業活動を展開しています。

Interview

02 TOPICS

ピロー包装をはじめとした高い技術力

包装サンプルを拝見すると見慣れた製品ばかりで、身近な食品や医薬品の多くに同社の包装機械が使われていることがわかり、その数の多さと種類の豊富さにとても驚きました。その中でも頻出する技術にピロー包装というものがあります。ピロー包装は一枚のフィルムを背中合わせて筒状にした状態でシールをし、指定の長さで底部をシールして切断



した形状の包装形態のことを指しています。長年蓄積された技術力やノウハウに加え、3Dプリンタ等の新技術も駆使しています。製品の多くは取引先企業のオーダーメイドの注文となり、お客様の多種多様な要望に応えるため、機械をその企業専用に製作するのだと伺いました。製作の過程では、営業・設計・製造の各部門が一丸となり、細部にまで手を抜かず日々努力をしている姿勢がインタビューや現場の様子から感じられました。



多様性×企業改革

当社は「多様性」に注力した企業づくりを進め、埼玉県多様な働き方実践企業のプラチナ認定という大変高い評価を受けています。また、グローバル分野では海外の人向けに日本語研修、希望する社員全員に英語や中国語の研修などを行っており、実質自己負担ゼロで多言語習得できるような仕組みがあります。そのほかにも、企業内の人間関係という点でも多様性が感じられ、さんさん運動といった活動をおこなっており、役職名で呼ぶことなく、〇〇さんと呼ぶようにし、役職の垣根を越えてコミュニケーションを取りやすくする取り組みがありました。働きやすい環境を実現するそれらの施策もあり、直近の入社3年以内の離職率2.7%という素晴らしい定着率を誇ります。従業員の皆さんは活発

にコミュニケーションをとっており、楽しく仕事をしている様子が多く見受けられました。

Interview

03 学生目線

今回の企業見学でお話ししてくださった方の一人に28年間勤めているベテランの方がいらっしゃったのですが、長い期間勤めていても飽きない、すごく仕事を楽しんでいるといった雰囲気が感じられました。好きなことを仕事にしている実感があり、このような企業で働きたいと考える人は多いのだろうと思いました。また、同社はいさつ強化月間やラジオ体操などを実施していると伺い、従業員のより良いコミュニケーションを促進させるような取り組みを行っていることにも大きな魅力を感じました。



おわりに

今回の企業訪問では多くの包装機械を見せていただき、その都度丁寧で細やかな説明をしていただき、非常に勉強になりました。また、社員の皆様には、本当にお忙しい中時間を割いていただいたうえに私たちの質問にも真剣にお答えいただき、誠にありがとうございます。大変貴重な機会を与えてくださった皆様に心から感謝申し上げます。



会員企業訪問記

学生レポーター

島田 惇哉 鈴木 花音
制野 健太 園田 憲蔵
富岡 璃久
工学部応用化学科 4年

『社会を繋ぐエンジニアリングを
すべての未来へ』

エクシオグループ株式会社



COMPANY PROFILE

所在地：東京都渋谷区渋谷3丁目29番20号

設立：1954年5月17日

代表者：代表取締役社長 船橋 哲也

事業内容：通信キャリア事業・都市インフラ事業・システムソリューション事業

Interview

01 概要

エクシオグループは1954年に協和電設株式会社として創業して以来、情報通信インフラ分野における専門技術をコアコンピタンスとしながら、時代のニーズに応じて事業領域を拡大してきました。現在、通信キャリア事業や都市インフラ事業、システムソリューション事業など多彩な事業で社会に価値を提供しています。

「つなぐ力」で創れ、未来の“あたりまえ”を合言葉に、70年近くにわたり培ってきた技術力で様々な社会課題の解決や人々の豊かな暮らしに貢献している会社です。

るために無電柱化工事の事業も行っているそうです。

同社では“人財”育成にも力をいれており、新入社員研修だけでなく、技術研修など様々な研修を行っているほか、メンター制度によるフォローアップや資格取得推奨制度により入社後も長期に渡って人財を育成しています。



な行動によるコミュニケーションを大切にしていると伺い、与えられた仕事に対して一人一人が誇りと責任をもって取り組んでいる姿がとても印象に残りました。

また、豊富な研修により技術力の向上に注力しているだけでなく、「くるみん」マークの取得や「えるぼし」企業認定といったワークライフバランス向上をはじめ、ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョンの実現に向けた取り組みを積極的に推進していることも魅力的でした。



Interview

03 学生目線

今回は電気・環境・スマートエネルギー事業本部ならびに人財開発部の方々とお話しさせていただきました。ITインフラ・運用の最適化における施工から運用までの過程の苦労や実際に稼働したときの感動、現代社会に求められているニーズやそのニーズに応えるために技術を常に更新していく働きかけについて知ることができました。

都市インフラに関する知識が少ない私たちに対しても、技術に関する質問を分かりやすく説明していただきました。現場でのコミュニケーションの難しさについて質問した際には、言葉だけではなく誠実

おわりに

今回の企業訪問では、インフラを支える企業がどのような事業を行っているかを知る、大変有益な時間となりました。執行役員 古川人財開発部長をはじめ、電気・環境・スマートエネルギー事業本部・人財開発部 関係者の皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

Interview

02 TOPICS

高い技術力と「人財」育成

同社では様々な事業を行っていますが、今回の訪問では都市インフラ事業について詳しく紹介していただきました。現在、インターネットの利用拡大によりデータセンターの需要も増加しています。同社ではデータセンターの設計、施工を今まで培った技術力で数多く手掛けることで業績をあげています。また災害復興事業にも参加しており、創業以来培ってきた情報通信技術を生かし通信インフラの復旧などで貢献するとともに、災害に対応するだけでなく災害に強い街をつく



新会員紹介

01

森松T&S株式会社

弊社は、森松ホールディングスの日本における現地法人として、2021年6月の親会社の香港株式市場上場を契機に設立されました。中国にあるグループ企業と連携し、医薬品、化粧品、電力、新エネルギーなどの幅広い分野で、モジュール設備やスキッドの製造を手がけています。これら製品の販売、調達、エンジニアリング、研究開発をサポートし、最適なソリューションを日本から提供する拠点として活動しています。

- ① 製造業（産業設備製品等）
- ② 岐阜県本巣市見延 1430-8
- ③ 058-323-0134
- ④ 2023年（令和5年）11月27日
- ⑤ 代表取締役社長 川島 宏貴
- ⑥ Your Needs, Our Drive



02

一般社団法人green4

文化の中心である神社やお寺と一緒に「環境保全宣言」を行い、境内や参道などで「100年の森づくり」の実現を目指します。そのため企画プロデュース・プロモーション等を行い、地域ブランディングに繋がっていきます。また、このプロジェクトを学生と一緒に取り組むことで、学びにつながる活動にしたいと考えています。

- ① 緑化プロデュース・教育事業
- ② 埼玉県さいたま市大宮区高鼻町 1-414-1
- ③ 090-7631-9067
- ④ 2018年（平成30年）9月14日
- ⑤ 代表理事 鈴木圭介・菅野沙織
- ⑥ 100年の森づくり



武蔵一宮氷川神社参道緑化プロジェクト

03

株式会社ジョイパレット

弊社はアニメなどのキャラクターを用いた玩具を販売するメーカーです。知育・教育玩具、ままごと玩具を中心に、子供向け自転車、三輪車、ヘルメットの販売を行っております。また、ショッピングモールやスーパーなどの店舗向けに、子供を乗せることができるショッピングカートの企画・製造・販売も行っております。

- ① 製造業（知育・教育玩具等の企画・製造・販売）
- ② 東京都台東区蔵前1-8-2 東邦ビル
- ③ 03-6272-9903
- ④ 2009年（平成21年）6月5日
- ⑤ 代表取締役社長 野村 純



04

LangCloudテクノロジーズ合同会社

先進的AIテクノロジーで「社会」と「労働」の課題解決に取り組み、人々の仕事と生活の質を高め、幸せな未来創りに挑戦します。AI・DXに関するコンサルティング、人材育成に加え、オープンソース主体のAIアプリケーションのご提供または開発により、AI Transformationによる業務の生産性向上、付加価値創出をご支援します。

- ① AI・DXに関するコンサルティング、人材育成、ソフトウェア開発・販売等
- ② 埼玉県新座市東北2-36-11 EH第4ビル4階
- ③ 049-253-1757
- ④ 2024年（令和6年）1月22日
- ⑤ 代表 小林 竜己
- ⑥ 社会の活力、安全、公平性の実現を目指す



05

株式会社みずほ銀行 浦和法人部

〈みずほ〉は、銀行・信託・証券・アセットマネジメント・リサーチ&コンサルティング等、幅広い領域におけるビジネスにグループ一体で取り組んでおります。過去にとらわれない柔軟な発想をもって、お客さまのニーズと、経済・社会の変化をいち早く予見し、解決策を見出すための変革に、果敢に挑戦し続けます。

- ① 金融・保険業（銀行業及び付随するその他の事業）
- ② 東京都千代田区大手町1-5-5 大手町タワー
- ③ 03-3214-1111
- ④ 2013年（平成25年）7月 ※発足日
- ⑤ 取締役頭取 加藤 勝彦
- ⑥ ともに挑む。ともに実る。



DATA ▶▶ ①事業内容 ②本社所在地 ③電話 ④設立年月日 ⑤代表 ⑥社是またはモットー

06 MS&ADインターリスク総研株式会社

MS&ADにおけるリスクマネジメントの中核会社として、補償・保障の前後においてデジタル・データを活用した新たなサービスと事業機会を創造しています。前段階では、事故や災害の予防・予知やリスクの原因を取り除きリスクを軽減するソリューションを、後段階では、復旧・回復の早期化や二次被害を極小化するソリューションを開発・提供しています。

- ① コンサルティング、受託調査研究、セミナーの開催/講師派遣、出版
- ② 東京都千代田区神田淡路町2-105
ワテラスアネックス
- ③ 03-5296-8911
- ④ 1993年(平成5年)1月4日
- ⑤ 取締役社長 一本木 真史
- ⑥ 「リスクソリューションのプラットフォーム」



07 株式会社みやび

我々は、日常で不足しがちな栄養素を補うための健康食品や化粧品等を、皆様にお届けしています。また、子どもから高齢者まで全ての方が健康で楽しい生活を送ることができるよう、スポーツ振興を図る様々な催しを進めています。加えて、環境に配慮した商品やサービスの提供、社会課題への取り組みを実施しております。

- ① ビューティー&ウェルネス事業、スポーツ振興事業、サステナブル事業
- ② 東京都豊島区高田3-32-3 不二ビル
- ③ 03-6914-0260
- ④ 2021年(令和3年)4月20日
- ⑤ 代表取締役社長 林 雅俊
- ⑥ 協創共栄



08 株式会社立花エレテック(東日本支社)

弊社は、3Dプリンタ専任営業メンバーを配置し、お客様へベストな3Dプリンタの提案をおこなっております。また、日本AM協会正会員として3Dプリンタの普及促進活動をおこなっております。工作機械、ファクトリーオートメーション製品も取り扱いしており、製造業様のお困りごとをまるごとサポートいたします。

- ① 3Dプリンター・工作機械・ファクトリーオートメーション・半導体デバイス製品およびソリューション販売
- ② 東京都港区芝浦4-18-32(東日本支社)
- ③ 03-6400-3671
- ④ 1921年(大正10年)9月1日
- ⑤ 常務執行役員 東日本支社長 米田 浩(東日本支社代表)
- ⑥ 私たちのチカラ、それは技術商社としての「開発力」と「提案力」です。お客様の求めるソリューションを力強くサポートします。



株式会社立花エレテック 東日本支社

09 大森機械工業株式会社

創業76年を迎える包装機械を設計・製造・販売・アフターサポートするメーカーです。生活に密着した商品(食品、医薬品、化粧品、日用品など)を自動で“包む”数多くの機種を取りそろえ、業界トップクラスのシェアを誇っています。

- ① 製造業(包装用機械および包装関連機器)
- ② 埼玉県越谷市西方2761
- ③ 048-988-2111
- ④ 1957年(昭和32年)12月
- ⑤ 代表取締役社長 大森 利夫



10 新日本ビルサービス株式会社

清掃や設備管理などのビルメンテナンス業を中心に、建物を経営の視点から総合的に管理するファシリティマネジメント、テナント誘致やビル運営全般を通じて建物の価値を高めるプロパティマネジメントでお客様に貢献しています。近年では地域振興イベント「彩の国マルシェ」の開催、人手不足を見据えたAI清掃ロボットの導入に力を入れております。

- ① 総合ビルメンテナンス業
- ② 埼玉県さいたま市見沼区東大宮4-22-11
- ③ 048-667-3900
- ④ 1993年(平成5年)5月1日
- ⑤ 代表取締役 関根 一成
- ⑥ ファシリティに集う人々が愛と笑顔に包まれた躍動する世界の実現



AI清掃ロボットの導入

産学官連携活動カレンダー (予定表)

月 日	イベント	場 所
4(金)	3D-CAD&3Dプリンター研修 3D-CAD超入門コース	埼玉大学
10(木)	データサイエンス技術研究会	埼玉大学 ★
11(金)	3D-CAD&3Dプリンター研修 3D-CAD入門コース	埼玉大学
14(月・祝)	3D-CAD&3Dプリンター研修 3D-CADで2次元設計コース	埼玉大学
18(金)	3D-CAD&3Dプリンター研修 3D-CAD演習コース	埼玉大学
19(土)	さいたま市オープンイノベーション人材育成研修第4回	埼玉県産業振興公社(北与野)
22(火)	JST 新技術説明会	JST 市ヶ谷
25(金)	3D-CAD&3Dプリンター研修 3D-CAD超入門特別編(プログラミング)コース	埼玉大学
4(月・祝)	3D-CAD&3Dプリンター研修 3D-CAD演習コース	埼玉大学
5(火)	第25回埼玉大学産学交流会テクノカフェ	埼玉大学 ★
8(金)	3D-CAD&3Dプリンター研修 3D-CAD入門コース	埼玉大学
15(金)	3D-CAD&3Dプリンター研修 3D-CAD超入門特別編(プログラミング)コース	埼玉大学
21(木)	第19回東和新生会ビジネス交流会	Gメッセ群馬
22(金)	3D-CAD&3Dプリンター研修 3D-CAD超入門コース	埼玉大学
23(土)～25(月)	第75回むつめ祭(学園祭)	埼玉大学
29(金)	3D-CAD&3Dプリンター研修 3D-CADで2次元設計コース	埼玉大学
6(金)	3D-CAD&3Dプリンター研修 3D-CAD超入門コース	埼玉大学
9(月)	3D-CAD&3Dプリンター研修 3D-CAD演習コース	埼玉大学
13(金)	3D-CAD&3Dプリンター研修 応力解析コース	埼玉大学
19(木)～20(金)	3D-CAD&3Dプリンター研修 3D設計造形入門コース	埼玉大学
	埼玉りそな産業経済振興財団主催シンポジウム	埼玉大学
	第4回埼玉大学産学官連携協議会運営委員会(予定)	メール審議 ★
10(金)	3D-CAD&3Dプリンター研修 3D-CAD超入門コース	埼玉大学
17(金)	3D-CAD&3Dプリンター研修 3D-CAD演習コース	埼玉大学
22(水)～23(木)	彩の国ビジネスアリーナ2025(産学連携フェア)	さいたまスーパーアリーナ
24(金)	3D-CAD&3Dプリンター研修 3D-CAD超入門特別編(プログラミング)コース	埼玉大学
2	埼玉大学合同オープン・カンパニー	オンライン ★
	3D-CAD&3Dプリンター研修 活用事例報告会	埼玉大学
3	埼玉県経営者協会主催埼玉大学公開講座	ソニックシティビル
	第5回埼玉大学産学官連携協議会運営委員会(予定)	メール審議 ★

★埼玉大学産学官連携協議会関連事業

埼玉大学産学官交流会

第25回 テクノカフェ

埼玉大学産学交流会テクノカフェを開催いたします。
多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

日 時	▶ 2024年 11月5日 (火) 14:00～18:00 (予定)
会 場	▶ 埼玉大学総合研究棟 1号館 1階シアター教室ほか
第1部	▶ 大学研究シーズのご紹介: 大学教員研究成果等の事例発表
第2部	▶ 基調講演 「イノベーションの再現性を高める新規事業開発マネジメント」 講師: 株式会社 Relic 代表取締役 CEO 北嶋 貴朗氏
お申込み	▶ 事前登録制: 右記 QR コードを読み取り、参加申込フォームからお申し込みください。 https://www.saitama-u.ac.jp/research/topics/archives/techno2024.html

